

令和6年度 県立工業技術センター研究課題評価結果

個 票 No.	研究課題名	評価項目	評価結果			委員コメント (※類似コメントは集約)
			平均 得点	合計 得点	採否	
3	【事後評価】 SDGs 対応革の開発	目標達成度	4.6	18.0	達成	<p>【評価の結論に至った理由・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際環境認証の登録が増えており、EUにおけるビスフェノール対応の達成度は素晴らしいと思います。 研究課題にアグレッシブに取り組んでおられ、成果も上がっている。 目標を達成し、いくつかの実用化事例を生み出した。 知名度UPに大きく貢献している。 環境対応プロセスで試作品を複数作製し、展示会等で多数発表している。 全面的な実用化を検討するレベルに到達している。 当初の目標は達成していると考えます。 <p>【提案機関へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> さらなる知名度UP、ビスフェノール規制対応革の多用途開発に力を入れていってほしいと思います。 兵庫県の産業における波及効果や効率性が不明瞭。 成果を数値化して説明していただけるとわかりやすい。 「スケールインパクト」のブランド化を図ってください。 兵庫、京都に限らず、東京、和歌山、全国展開されたい。 ビスフェノール規制への対応についてもう少しアピールしたらどうでしょうか。 成果を産業界の発展につなげる努力も引き続きお願いしたい。
		必要性	4.6			
		有効性	4.6			
		効率性	4.3			
4	【事後評価】 レーザー溶着における接合 部品質および強度に関する研究	目標達成度	4.0	16.9	達成	<p>【評価の結論に至った理由・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> レーザー溶着に関して、低コスト、製品へのダメージが低いなど、メリットも多く、接合強度を向上できる最適な溶着条件が存在するとわかったことは接着技術について大きな前進であると思います。 説明が端的でわかりやすかった。 (この分野は素人での外れなコメントかもしれないが) 現行技術がどこまでできていて、何を指すのかがもう一つ分らなかった。 US検査としてはOK。 引っ張りは別に実行してください。 レーザー照射条件と欠陥やせん断力の関係を明らかにした。 成果が出ている。 特定材料についてはあるが、基本的な特性を明らかにしており一応の目的は達成している。 <p>【提案機関へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の溶着技術への応用、異種材料同士の接合にも発展可能とあり、今後の展開に期待しています。 県内企業への波及効果や市場性がいまひとつ不明瞭である。 技術課題を整理して、1つずつクリアしてほしい。 (素)材料の一般性を考慮して実施してください。 材料の組み合わせにより結果が変わってくると思います。多くの材料の組み合わせに適用可能な一般的な指針のようなものを得る必要があるのではないのでしょうか？ 特定の組み合わせだけでなく、ほかの材料への発展も考えていただきたい。 引張強度だけでなく、疲労寿命も調べていただきたい。
		必要性	4.4			
		有効性	4.3			
		効率性	4.1			

令和6年度 県立工業技術センター研究課題評価結果

個 票 No.	研究課題名	評価項目	評価結果			委員コメント (※類似コメントは集約)
			平均 得点	合計 得点	採否	
5	【事後評価】 SDGs素材を用いた播州 織生地を試織に関する研 究	目標達成度	4.4	16.4	達成	<p>【評価の結論に至った理由・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsへの取り組みは非常に大事なことであり今回の研究目標達成率も高く、研究を続けて行ってほしいと思います。 ・研究内容や成果は理解できた。 ・風合い評価等で良好な結果が出ている。 ・試作ができています。パイナップルの葉の繊維に期待。 ・パイナップル葉紡績糸を用いた試織を行い、風合い測定を含めてさまざまな評価を行った。それにより、どのような用途に適しているかを明らかにした。 ・成果が出ている。 ・基礎研究としては成果を上げており、評価できる。 <p>【提案機関へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播州織の生産量、輸出品ともに大きく減少し続けています。播州織のブランド化付加価値化を高め播州織を活用し発展を目指してほしいと思います。 ・県内企業への波及効果や市場性をもう少し明確にしていただけないか。 ・SDGsへ向けて引き続き取り組んでいただきたい。(回収の課題など) ・EUへの対応に力を注いで欲しい。 ・将来的に繊維のリサイクルは必ず必要なので、継続的に研究を行っていただきたいと思います。 ・様々なチャレンジをしておられることは評価するが、やはり最終的には地場産業振興につながるよう引き続きご検討いただきたい。
		必要性	4.4			
		有効性	4.0			
		効率性	3.6			